



栃木県の経済情勢報告

令和6年4月22日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

| 項目 | 前回（6年1月判断） | 今回（6年4月判断） | 前回比較 |
|------|------------|------------|------|
| 総括判断 | 持ち直している | 持ち直している | → |

（注）6年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回（6年1月判断） | 今回（6年4月判断） | 前回比較 |
|--------|-----------------|-----------------------|------|
| 個人消費 | 緩やかに回復しつつある | 緩やかに回復しつつある | → |
| 生産活動 | 持ち直しつつある | 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている | ↘ |
| 雇用情勢 | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している | → |
| 設備投資 | 5年度は増加見込みとなっている | 5年度は減少見込みとなっている | ↘ |
| 企業収益 | 5年度は減益見込みとなっている | 5年度は増益見込みとなっている | ↗ |
| 企業の景況感 | 「下降」超となっている | 「下降」超となっている | → |
| 住宅建設 | 前年を下回っている | 前年を下回っている | → |
| 公共事業 | 前年を上回っている | 前年を下回っている | ↘ |

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、令和6年能登半島地震、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

家電大型専門店販売額やホームセンター販売額は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額やドラッグストア販売額等は前年を上回っている。乗用車新車登録届出台数は一部メーカーの生産・出荷停止の影響により前年を下回っている。また、宿泊や飲食サービスについては持ち直している。このように、個人消費は緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 暖冬のため春物衣類の売行きが低調であったものの、外出機会が増加したことにより化粧品や服飾品が好調。これらの高額は値上げしても販売点数が落ち込んでいない。(百貨店)
- 多くの商品を値上げしているが買上点数の減少はみられない。食料品の値上げは小幅であることや消費者が値上げに慣れてきたことが要因と考えられる。(スーパー)
- 値上げしたことにより客単価も上昇。インバウンドの消費が前年同期と比較すると大きく上昇している。(コンビニ)
- 一般世帯の引越しが多く大型家電の売行きが好調であったものの、新型コロナの感染拡大に伴う巣ごもり需要からの反動減が依然として続いている。(家電量販店)
- 1月に風邪薬の販売が前年比で大きく増加し、他の医薬品についても年明け以降需要が増加している。(ドラッグストア)
- ペット用品や自転車関連用品は好調であったものの、暖冬の影響から季節商品の売上高が減少。(ホームセンター)
- 半導体不足による納期長期化が解消されたことから、新車販売台数は前年同期比で増加。(自動車販売)
- 人流が正常化してきたことや値上げ後も客足が伸びていることから、売上高は増加。(飲食)
- 個人客はコロナ前の水準まで回復しており、足下の業績も目標を上回っている。(宿泊)

■ 生産活動 「持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

鉱工業生産指数を業種別にみると、生産用機械が上昇している一方、業務用機械や輸送機械等が低下しているなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

- 国内は老朽インフラ対策で公共工事が持続的に発生していることから、小型建機の需要が安定している。(生産用機械)
- 国内は工作機械や半導体の需要が低迷、中国向けは景気減速により低迷していることから、受注が減少している。(業務用機械)
- 一部自動車メーカーの生産停止の影響により、受注が減少した。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率、新規求人数ともに底堅く推移しており、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 新規採用について、応募が少なく目標数に至らなかった。学校を訪問したり、バスや駅に募集広告を出したりしているが、なかなか結果につながらない。(製造業)
- 設計・開発部門の人材が不足している。外注により対応しているものの、人材育成やノウハウ蓄積の観点から社内で行うことが望ましいと感じている。(製造業)
- 離職防止のため職場環境改善に取り組んでおり、年始に休業日を1日設けたり、省人化投資により残業を減らしたりしている。(飲食)

■ 設備投資 「5年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

- 5年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比8.0%の増加見込み、非製造業では同26.9%の減少見込みとなり、全産業では同4.6%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「5年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

- 5年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比4.2%の増益見込み、非製造業では同1.1%の減益見込みとなり、全体では同2.8%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1~3月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、6年4~6月期は「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、国、県、市町いずれも前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

■ 企業倒産 「件数及び負債総額ともに前年を上回っている」



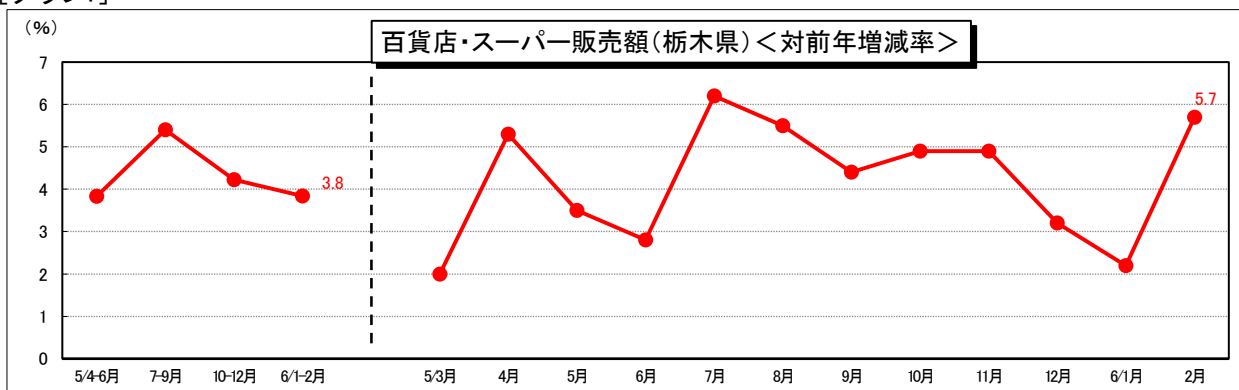
栃木県の経済情勢報告

資料編

1. 個人消費

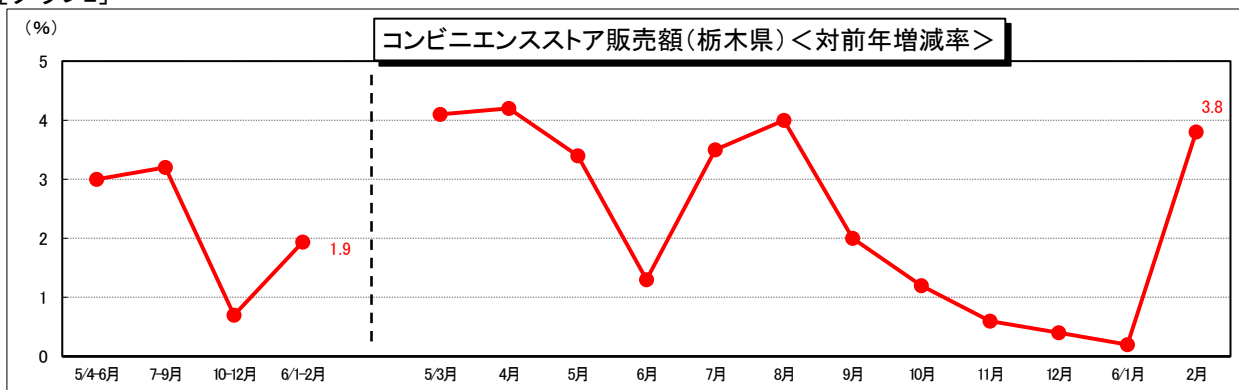
緩やかに回復しつつある

[グラフ1]



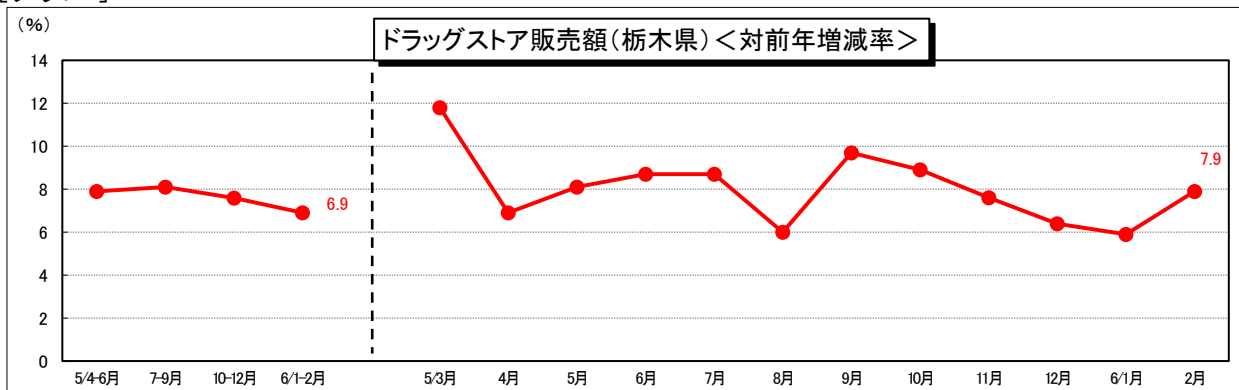
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



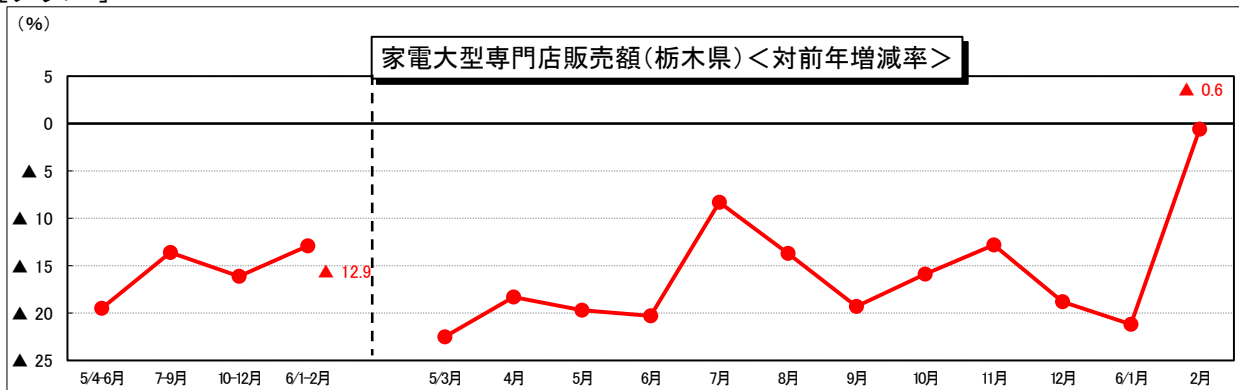
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



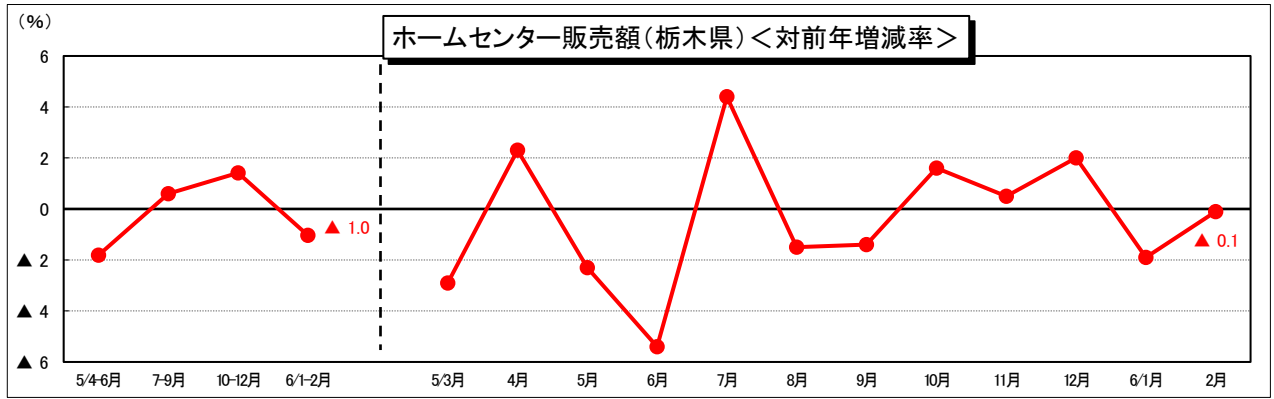
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]



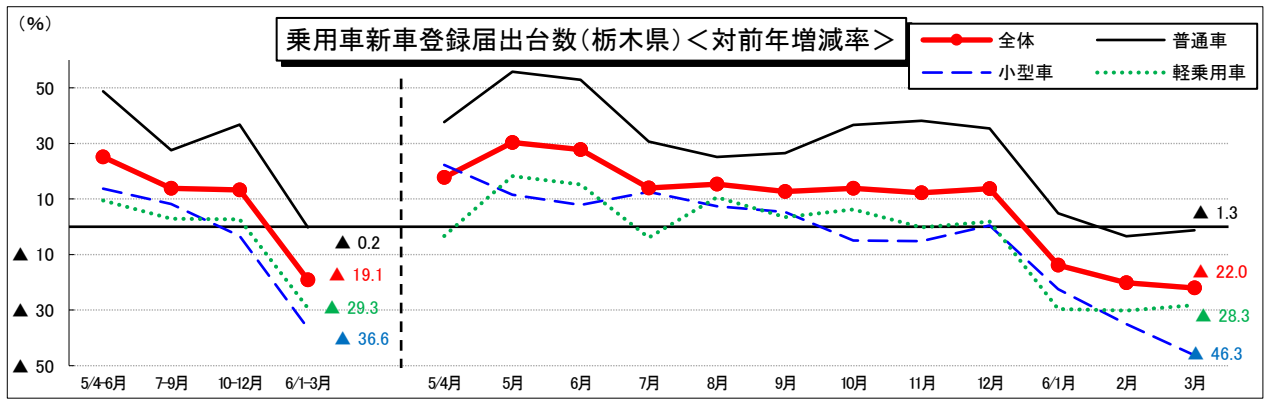
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ6]

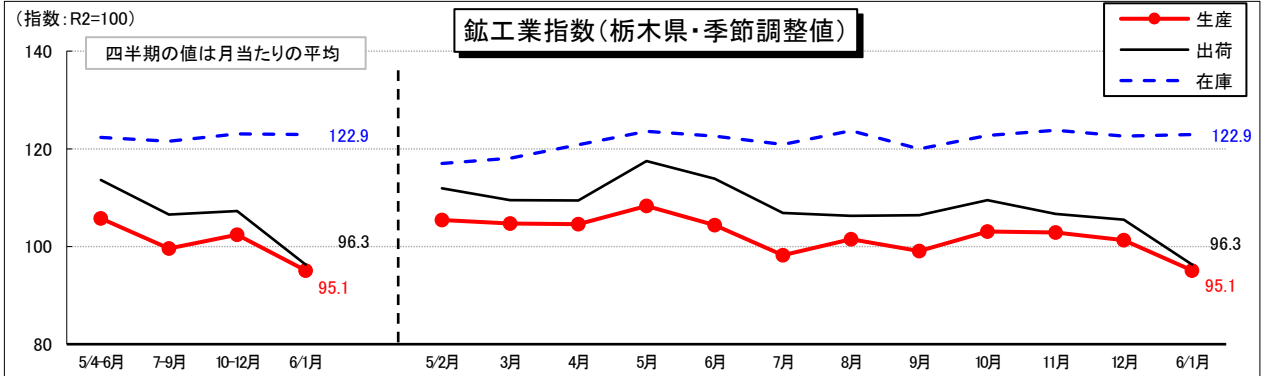


出典：「新車登録台数」((一社)日本自動車販売協会連合会)を加工、「軽四輪車県別新車販売台数」((一社)全国軽自動車協会連合会)を加工

2. 生産活動

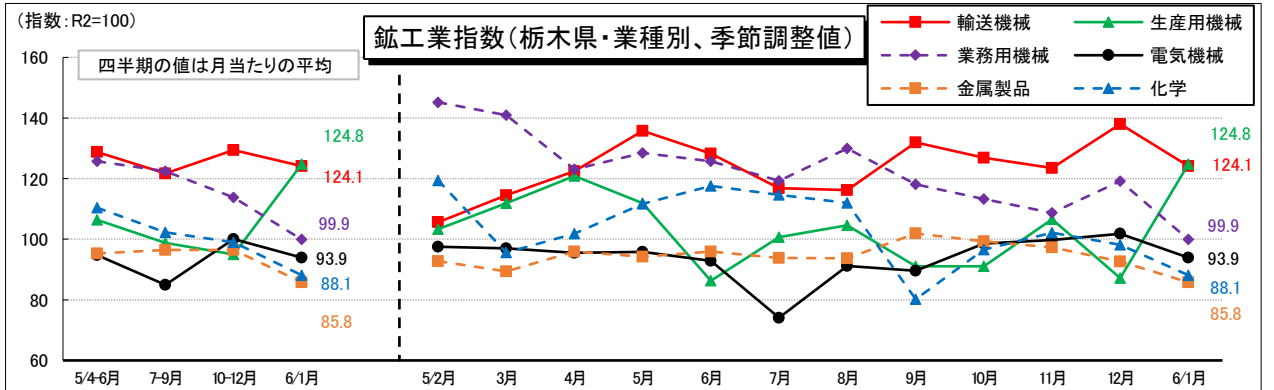
持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

[グラフ7]



出典：「栃木県鉱工業指数」(栃木県)を加工

[グラフ8]

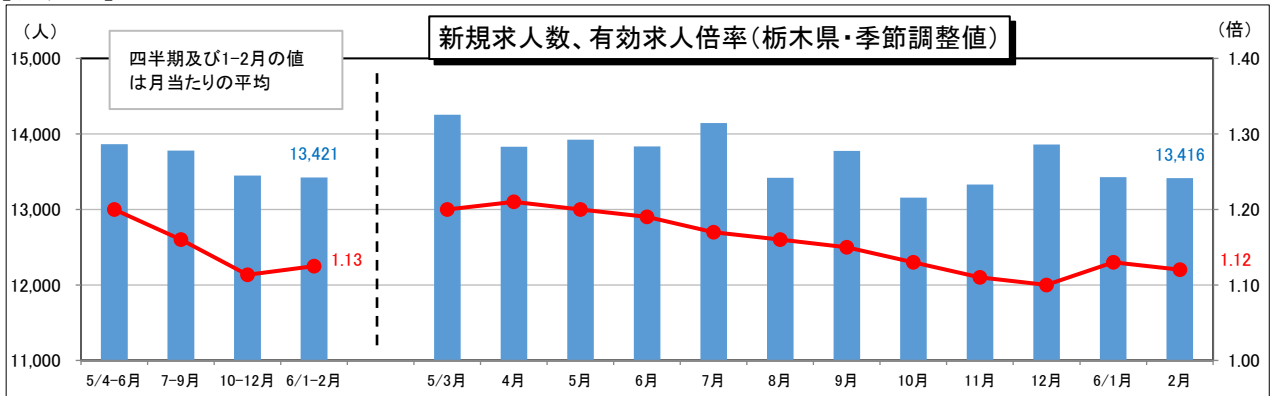


出典：「栃木県鉱工業指数」(栃木県)を加工

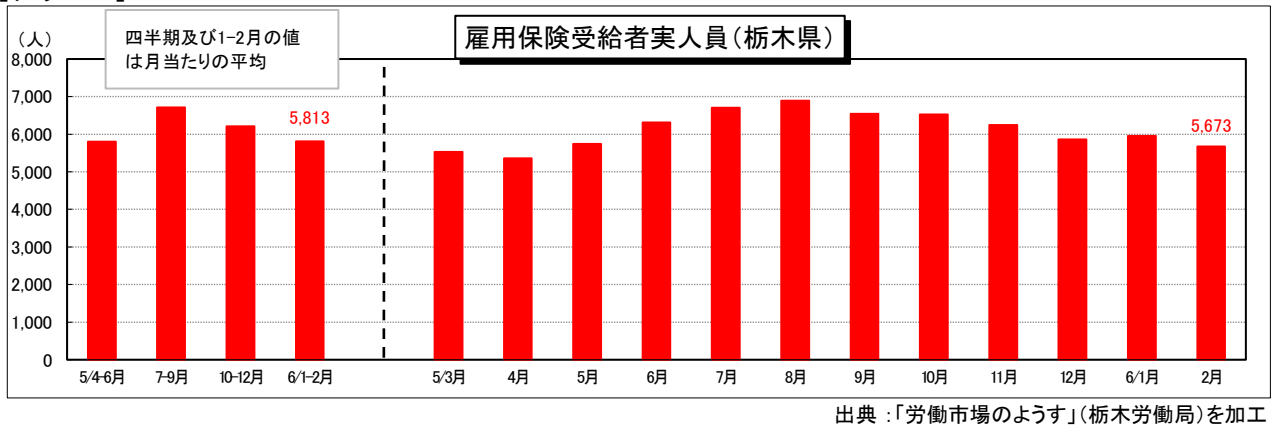
3. 雇用情勢

緩やかに持ち直している

[グラフ9]



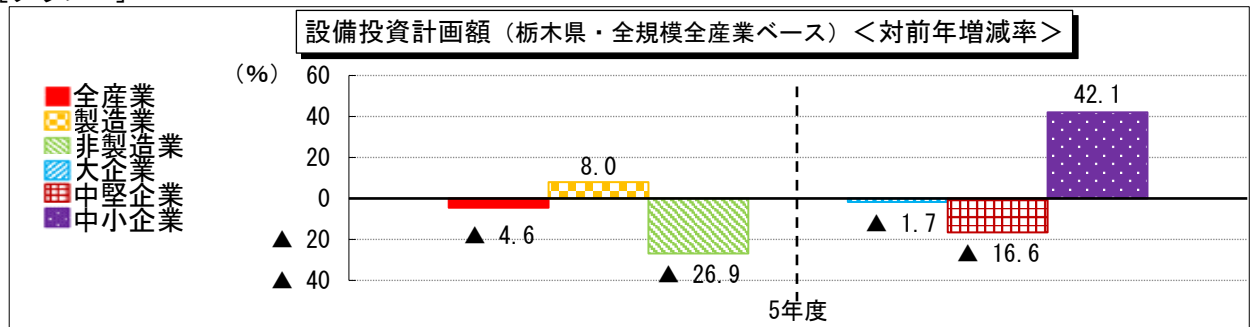
[グラフ10]



4. 設備投資

5年度は減少見込みとなっている

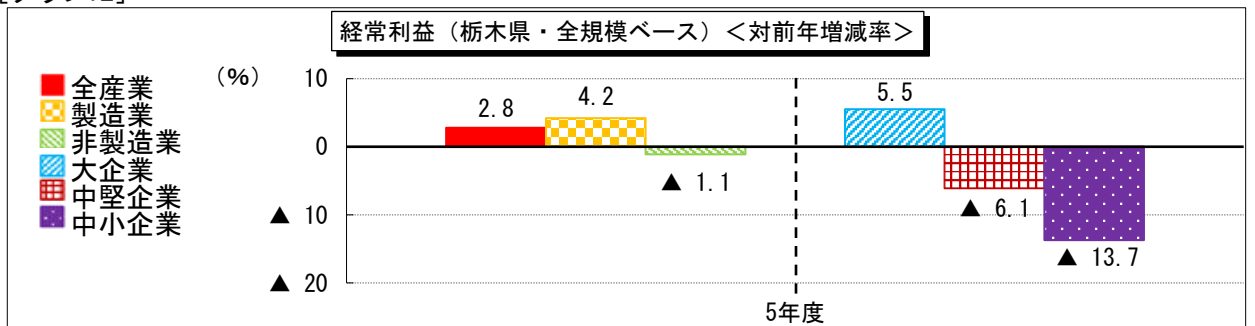
[グラフ11]



5. 企業収益

5年度は増益見込みとなっている

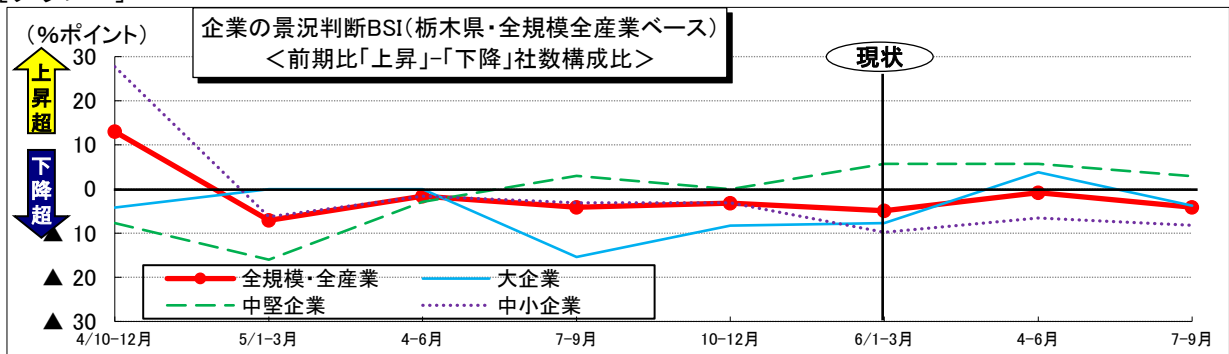
[グラフ12]



6. 企業の景況感

「下降」超となっている

[グラフ13]

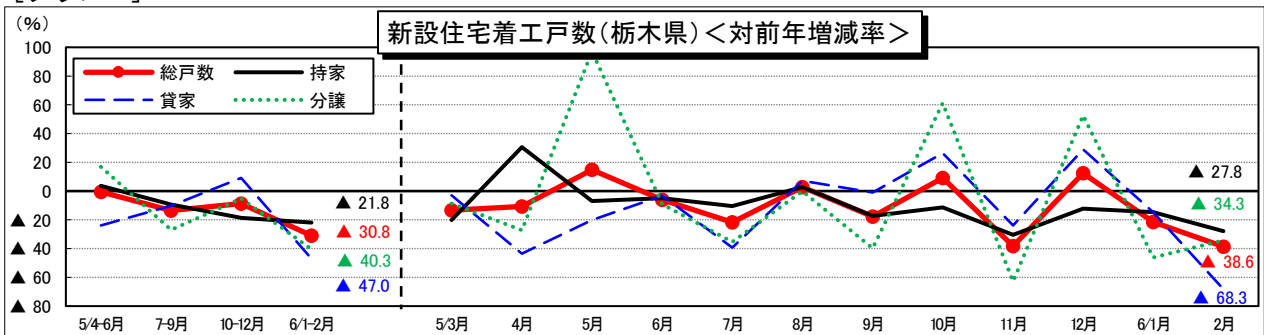


出典：「法人企業景気予測調査(令和6年1~3月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

7. 住宅建設

前年を下回っている

[グラフ14]

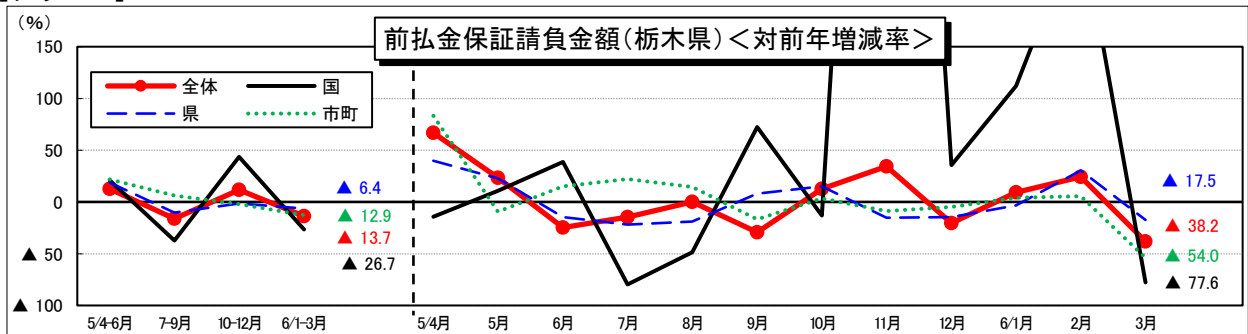


出典：「住宅着工統計」(国土交通省)を加工

8. 公共事業

前年を下回っている

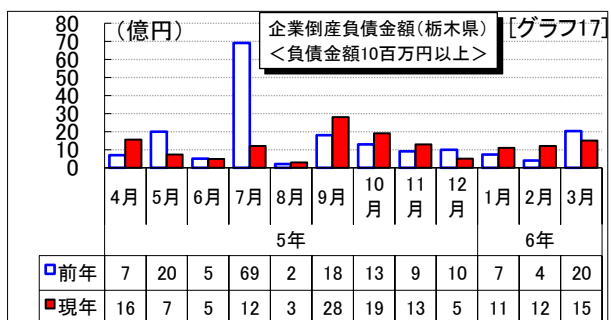
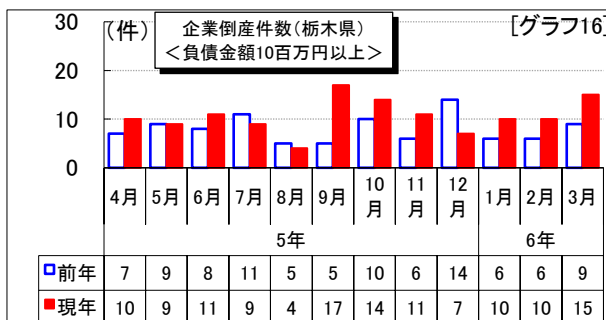
[グラフ15]



出典：「公共工事前払金保証統計」(北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)を加工
 (注)令和5年11月、令和6年2月の「国」の数値は前年比981.6%、271.3%となっている。

9. 企業倒産

件数及び負債総額ともに前年を上回っている



出典：「栃木県内企業倒産整理状況」(㈱東京商エリサーチ 宇都宮支店)を加工